

組合員さんからの投稿コーナー
Mail Box

* 今月のテーマ *

「私のおすすめの一冊」

かがみの孤城

辻村深月 著

日立市 PNパンダ原

繊細な思春期の辛さを思い出しながら、未来は案外悪くないよ、世界は学校と家庭だけじゃないよと伝えられる1冊でした。子どもたちが中学生くらいになったらすすめたいです。

昨日までと違う

自分になる

若宮正子 著

かすみがうら市 PNオリーブ

この著者は81歳からプログラミングを始めました。「打席に立たなきゃ、どんな球だって当たらない」と、とにかく前向きです。気持ちや頭の若さは、実年齢と関係なさそうです。60代の私はスマホでもオロオロして

いるのに、背中をドーンと押されました。

成瀬は信じた道をいく

宮島未奈 著

ひたちなか市 鹿山律子

成瀬は、滋賀県の女子高生。言動が突飛なので最初は引いてしまったが、読んでいくうちに愛さずにはいられなくなりました。「成瀬は天下を取りに行く」の続編で、併せて読んでほしいです。

バカの遺言

林家木久扇 著

常陸大宮市 PNハナミズキ

才能がある木久扇師匠が、あえてバカな自分になることで多くの人に愛され、人生を楽しんできた様子が見えました。師匠のようにほんわかした魅力を持った歳の重ね方をしたいです。

80歳の壁

和田秀樹 著

稲敷市 PN弘美

作者はお医者様。私は93歳の

義母の介護でストレスを感じる毎日です。何でこんなことするんだ？今度は何をやってくれた？不思議ちゃんになった義母に悪戦苦闘の日々でした。この本には、歳をどのように重ね幸せな老後をおくれるか、よいことがいっぱい書いてあります。介護に直面している方は必読の書です。

大ピンチずかん

鈴木のりたけ 作

つくばみらい市 PNももゆり

子どもに小学校の図書館で大人気すぎて借りられないから買って欲しい！と言われて買いました。この本に大人の私もハマりました。あるあるがいつぱい載っていて、いつか「大人のピンチずかん」も出して欲しいです。

みえるとか

みえないとか

ヨシタケシンスケ 作

土浦市 PNDALÉ

新しい考え方に気づかせてもらえて、とても衝撃的で楽しかったです。読むたびにくすつ

と笑えて、ゆるーく、幸せな気持ちになれます。

こんとあき

林明子 作

筑西市 PNいのっち

ずっと受け継がれる絵本はこの本に限ると思うくらい自分の中の「ベストセラー」本です。保育士になり、この絵本を読み聞かせすると、夢中で見入る真剣な表情の子どもたち。そして、わが子は、題名もすぐ覚えてしまい何回も読んでとリクエストします。まだ2歳の子どもも「こんとあき」の世界に夢中になってしまっほです。

木曜日にはココアを

青山美智子 著

守谷市 PNゴンベ

カフェから始まる短編集ですが、登場人物につながりがあり、長編を読んでいるような感じになります。それぞれが自分の人生の主役なんだなあと感じ、心が温かくなります。続編の「月曜日の抹茶カフェ」も同じ空気で大好きです。

旅する練習

乗代雄介 著

牛久市 PNもいもい

叔父と姪が我孫子から鹿島を目指して歩く旅です。旅の練習をしていたのは姪だと思っていながら、衝撃の結末が……。深く考えさせられた本でした。

いちばん長い夜に

乃南アサ 著

つくば市 PNキキ

刑務所帰りの二人の女性の日常の話ですが、東日本大震災をきっかけに変化がありました。最後は泣きながら読みました。何度読み返しても感動します。

楽しい投稿をお待ちしています

8月号テーマ

夏休みにやりたいこと

エピソードをお寄せください。
写真やイラストを募集中!

●投稿の締め切りは6月10日(月)です。